

みちのくYOSAKOIまつり

参加チームの皆様へ

新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン

感染予防対策をしながら活動しましょう。
適切に発信し地域の理解を得る努力をしましょう。



◆日頃の感染予防対策◆

政府や自治体が示す感染予防対策に基づき、生活・活動をしましょう。

◆感染防止と拡大の阻止◆

これまでの練習方法やイベント参加を基準とせず、新しい生活様式に基づいた活動に切り替えましょう。

◆時勢に合う演出と構成◆

感染予防対策をしながら、みちのくYOSAKOIまつりを楽しむために、演出・振付等にも工夫をしましょう。

YOSAKOIの活動のみならず、日常生活の中でも【マスク着用】【こまめな手洗い】【手指の消毒】はもちろん、【人と接触する場合の距離を保つ】等心がけ、新しい生活様式に基づいた適切な行動が求められますが、それでもチーム関係者が感染するリスクから逃れられません。

重要なのは、仮に関係者の中に感染者が出たとしても、チーム内に感染が広がらないよう、このガイドラインに記した**順守事項・注意事項**をベースとし、チームとしても個々メンバーとしても、着実にそのルールを守る意識・行動が求められます。

また、YOSAKOIまつりの活動は、客観的に見れば「密接・密集」が不可避の活動です。感染予防策を講じながら活動をしていることを、適切に对外発信をし、地域の理解を得るように努力をすることも、YOSAKOIを楽しむ上で必要なことと考えています。

【祭り・イベント出演の際に行うべきこと】

- 出演メンバーについては、出演2週間前から毎身体調チェックシート等を使い、体調管理を行う。また、出演後1週間も毎身体調チェックを継続する。
- 多人数での飲食・会合を控える。
- 会場到着後は、控室やステージまでの導線などに応じての3密回避・会場スタッフの感染予防・アルコール消毒液等の配置などを確認し、チーム内に周知する。
- 演舞時・出演待機場所への移動時も含め、原則として正しいマスクの着用を励行する。
- チーム内での打ち上げは自粛をお願い致します。

【練習等メンバーが集結する際、行うべきこと】

- 屋内屋外問わず、利用施設が定める感染対策・利用条件等のルールは、事前に利用メンバーに周知させる。
- 練習や打ち合わせで多くのメンバーが集結する場合、その場所や参加者名を後日追跡できるよう、参加者名簿をリスト化し1ヶ月程度は保管しておく。
- 集結する参加者を対象とした健康チェック表を必ず作成し、発熱や咳、息切れ、倦怠感、頭痛、下痢等の症状がみられた方は1週間自宅待機にて静養し、かつ市販薬等の服用無しで症状が3日連続でみられなくなるまで、演舞の練習や出演は禁止する。
- チーム代表者及びスタッフは、メンバーの健康状態に十分注意を払い、万が一メンバーに感染者(陽性者)が発生した場合、保健所の指示を仰ぐこととする。同時に、みちのくYOSAKOIまつり事務局へ報告する。今後の練習・まつりへの出演について事務局の指示に従うこととする。(出演をお断りする場合もございます)
- 練習開始時は、速やかにアルコールによる手指の消毒もしくは流水と石鹸による手洗い・検温を実施し、上記の参加者名簿もしくは健康チェック表に記録する。終了時にも、アルコール消毒もしくは同様の手洗いを行う。多くの人が触れた個所は、アルコール等で消毒する。
- 練習中、15分おきにマスクを外し水分補給をし、呼吸を整える。それ以外は常時マスクを着用する。
- 特に屋内施設の場合、出入口・通路・着替え場所等も含め、適切な距離を維持し、「密」状態を避けるため、集合・着替え・解散等には十分な時間を確保し、場合によっては時間差を設け人数制限するなど工夫する。
- 屋内の場合は、常時開窓もしくは30分に1回(5分)開窓による換気を行う。(この場合、音楽や話し声等で近隣に迷惑をかけないように注意する)
- チーム内の練習前後の会食等は避け、実施の場合はオンライン等の活用を推奨します。

【演舞の演出・振付に関すること】

適切な距離を意識した練習計画を立てる。

通常で1m以上離れるよう、また「隊列移動」等の演出において距離を確保できているか確認したり、「リフト」等の表現方法での身体的接触を避ける等「いまできること」の中での演出・練習を意識する。大声を発する構成も今年は避ける工夫をお願いします。

本番のための複数回にわたる練習等にて、接触可能性が増えれば感染リスクも高まるため、本番の演出だけでなく練習も見越し演舞演出を考えることを励行する。尚、練習においても、接触の程度によっては濃厚接触となる可能性があります。濃厚接触者について次のページに記載されております。

【オンラインの活用】

- コロナウイルス感染予防対策が様々な場面で求められる今、会議や打ち合わせだけでなく、練習でもオンラインを活用できないか、メンバーが一同に介しての練習と併用できないかなど、各チームの事情に応じて、リアルとオンラインとのバランスを検討してみる。
- ライブ放送サイトを使った同時時間帯での練習や、リーダーが撮影した練習動画を基に、メンバーの都合の良いタイミングで練習する等、オンラインの特徴を活かした活動が可能になる。
- 感染防止対策上のメリットのほか、移動時間やコスト面でのメリットも得られる。
- チームの中には、医療や介護福祉関係者など、YOSAKOI活動への参加を躊躇してしまう仕事に就いているメンバーもいると思いますが、そうした方々にはオンラインを活用した活動を用意することで、他メンバーと活動を共有できるというメリットもあると思います。

《濃厚接触者とは》

*厚生労働省のホームページには、下記のように記されています。

濃厚接触者は、新型コロナウイルスに感染していることが確認された方と近距離で接触、或いは長時間接触し、感染の可能性が相対的に高くなっている方を指します。

濃厚接触かどうかを判断する上で重要な要素は上述のとおり、①距離の近さと②時間の長さであり、必要な感染予防策をせずに手で触れること、または対面で互いに手を伸ばしたら届く距離(1m程度以内)で15分以上接触があった場合に濃厚接触者と考えられます。

新型コロナウイルス感染者から、ウイルスがうつる可能性がある期間(発症2日前から入院等をした日まで)に接触のあった方々について、関係性・接触の程度などについて、保健所が調査(積極的疫学調査)を行い、個別に濃厚接触者に該当するかどうか判断します。

接触確認アプリを利用いただくと、陽性者と、1m以内、15分以上の接触の可能性がある場合に通知が行われ、速やかな検査や治療につながります。

なお、15分間、感染者と至近距離にいたとしても、マスクの有無、会話や歌唱など発声を伴う行動や対面での接触の有無など、「3密」の状況等により、感染の可能性は大きく異なります。

そのため、最終的に濃厚接触者にあたるかどうかは、このような具体的な状況をお伺いして判断する。

みちのくYOSAKOIまつり実行委員会

〒980-0013 仙台市青葉区二日町 2-1 キムラオフィスビル 6F
TEL 022-268-2656/FAX 022-268-2674
E-mail d_info@michinoku-yosakoi.net